

第18回 楽しく身につく市民健康講座

これって認知症？

私はどうなる？



家族はどうする？



日時

令和元年 **9月28日**土
午後2時30分～(開場 午後2時)

会場

拍江エコルマホール 6階
展示・多目的室

小田急拍江駅北口(1階のエレベーターをご利用下さい。)

講師

河合 幸人氏(デイサービスつむぎ拍江 管理者)
東京都認知症介護指導者・介護福祉士

※午後2時～ 拍江市薬剤師会会員薬剤師によるお薬相談会あり

入場無料
申込不要
粗品進呈



[共催] 拍江市
[お問い合わせ] 一般社団法人拍江市薬剤師会

TEL 03-5497-2501 <http://komayaku.jp>

皆様、
お忙しい中おいで下さり、
ありがとうございます！

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

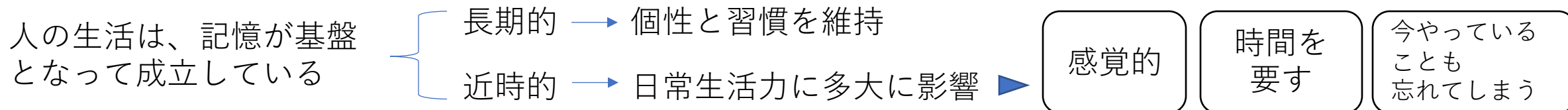
記憶が無くなるということを実体的に理解する

脳の器質的変化による症状であることを理解する

状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

記憶が無くなるということを実体的に理解する



脳の器質的変化による症状であることを理解する

状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

記憶が無くなるということを実体的に理解する

脳の器質的変化による症状であることを理解する

身体の欠損や麻痺が
脳内で起きている

記憶や見当識



認知機能の障がい症状

感情抑制や言語



損傷部位による症状

どちらも本人の力では
コントロールできない

状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

記憶が無くなるということを実体的に理解する

脳の器質的変化による症状であることを理解する

身体の欠損や麻痺が
脳内で起きている

記憶や見当識

認知機能の障がい症状

感情抑制や言語

損傷部位による症状

どちらも本人の力では
コントロールできない

状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する

甘えるから、鍛え
なきゃいけない

キツく何度も
言ってわからせ
ないと

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

記憶が無くなるということを実体的に理解する

脳の器質的変化による症状であることを理解する

状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する

状態変化に合わせて
た暮らし方に必然
的になる

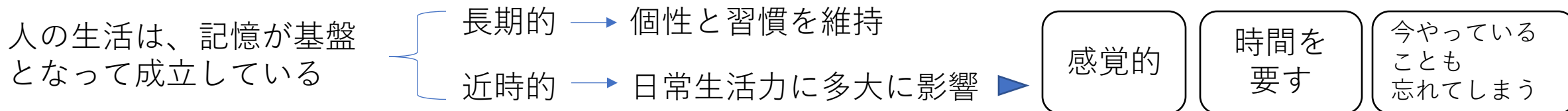
皆さんが
「暮らしやすくするためにやって
いること」はなんですか？



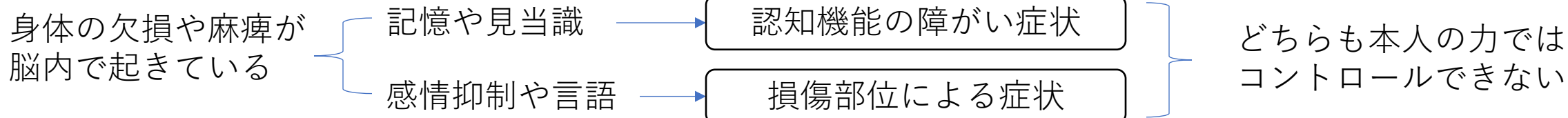
今までの暮らし方を続ける努力ではなく、
今の状態に合った「新たな暮らし方」を
見つける工夫が必要

認知症を正しく理解する「3つのポイント」

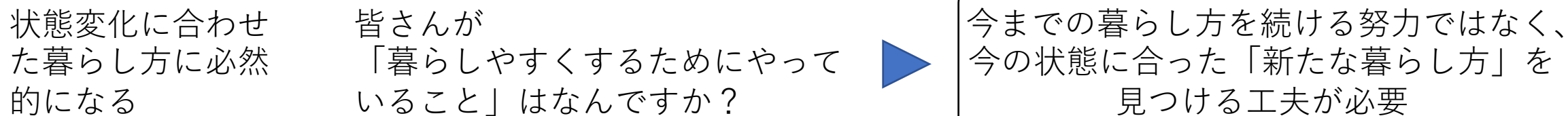
記憶が無くなるということを実体的に理解する



脳の器質的変化による症状であることを理解する

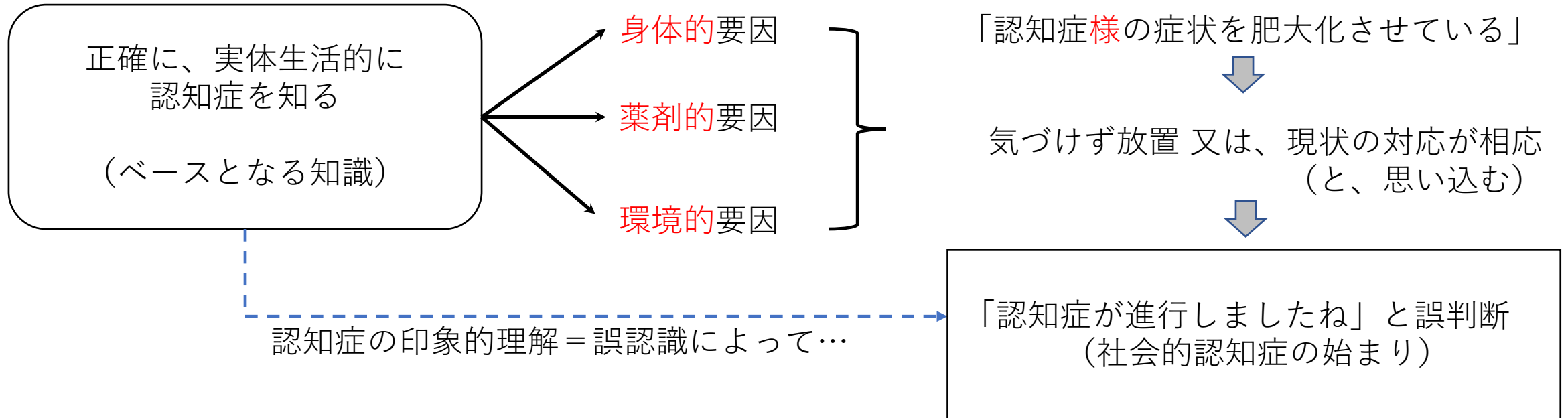


状態に合った暮らし方を見つける必然性を理解する



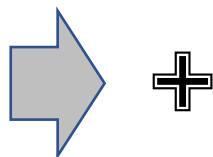
「これって認知症？」

～介護すると悪化する？～



人情をエネルギーとする
認識を推進

認知症の人
ではなく、
認知症の人

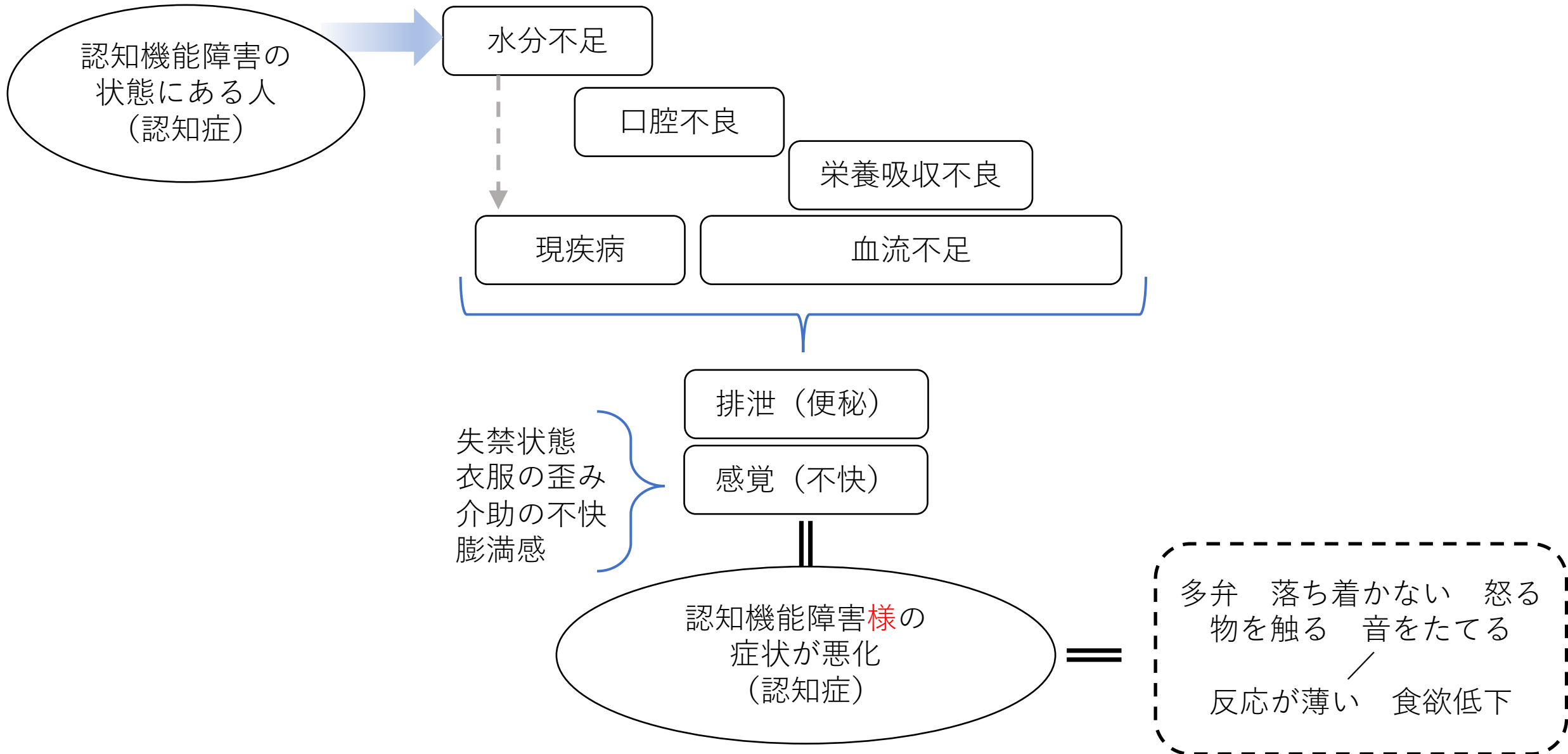


事実をそのまま捉えて
分析的にアプローチ

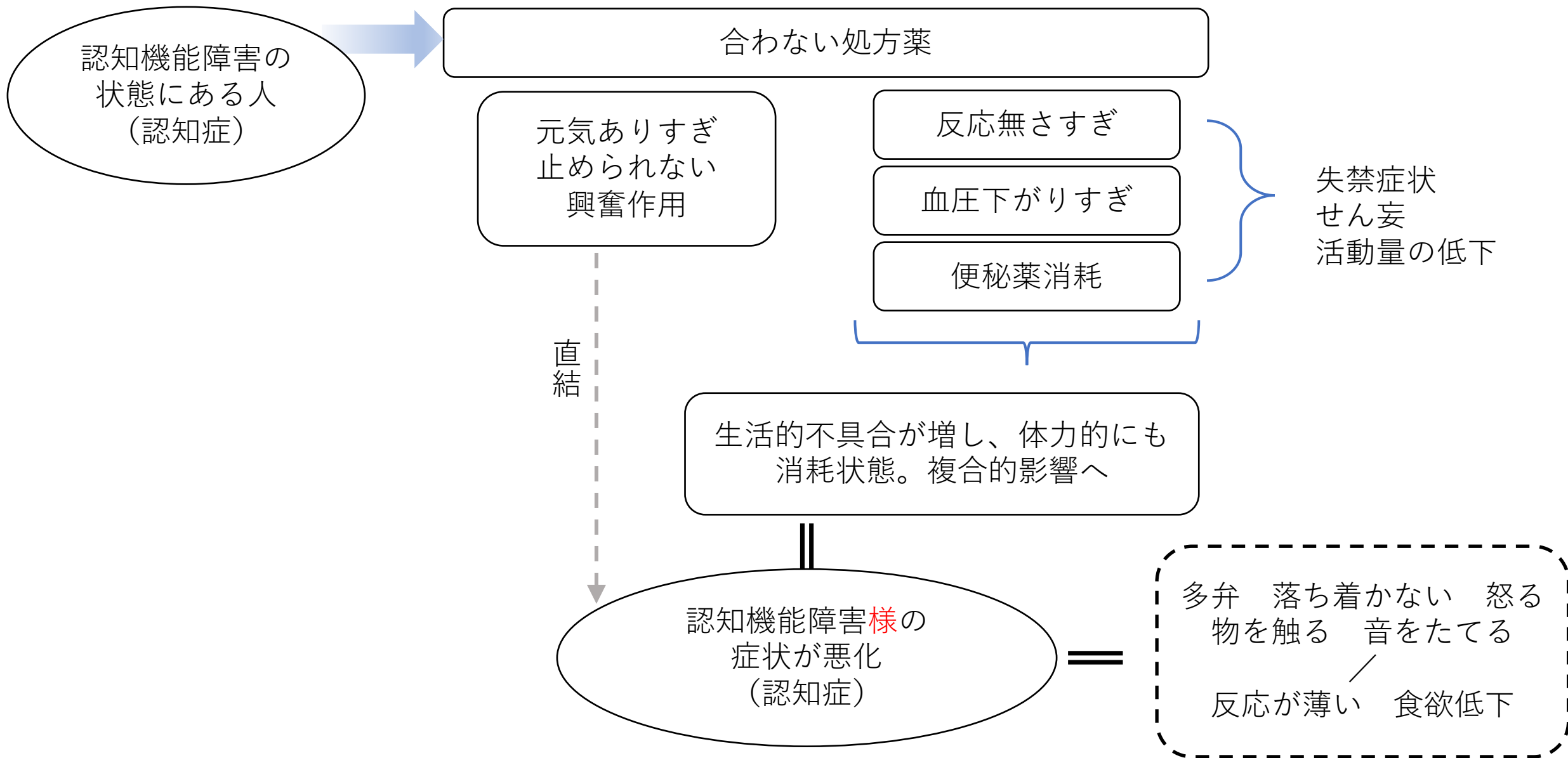
ここを支えてくれる専門支援者が必要

人情は必要。しかしそれだけで頑張ると自己批判的心理に陥りやすい。

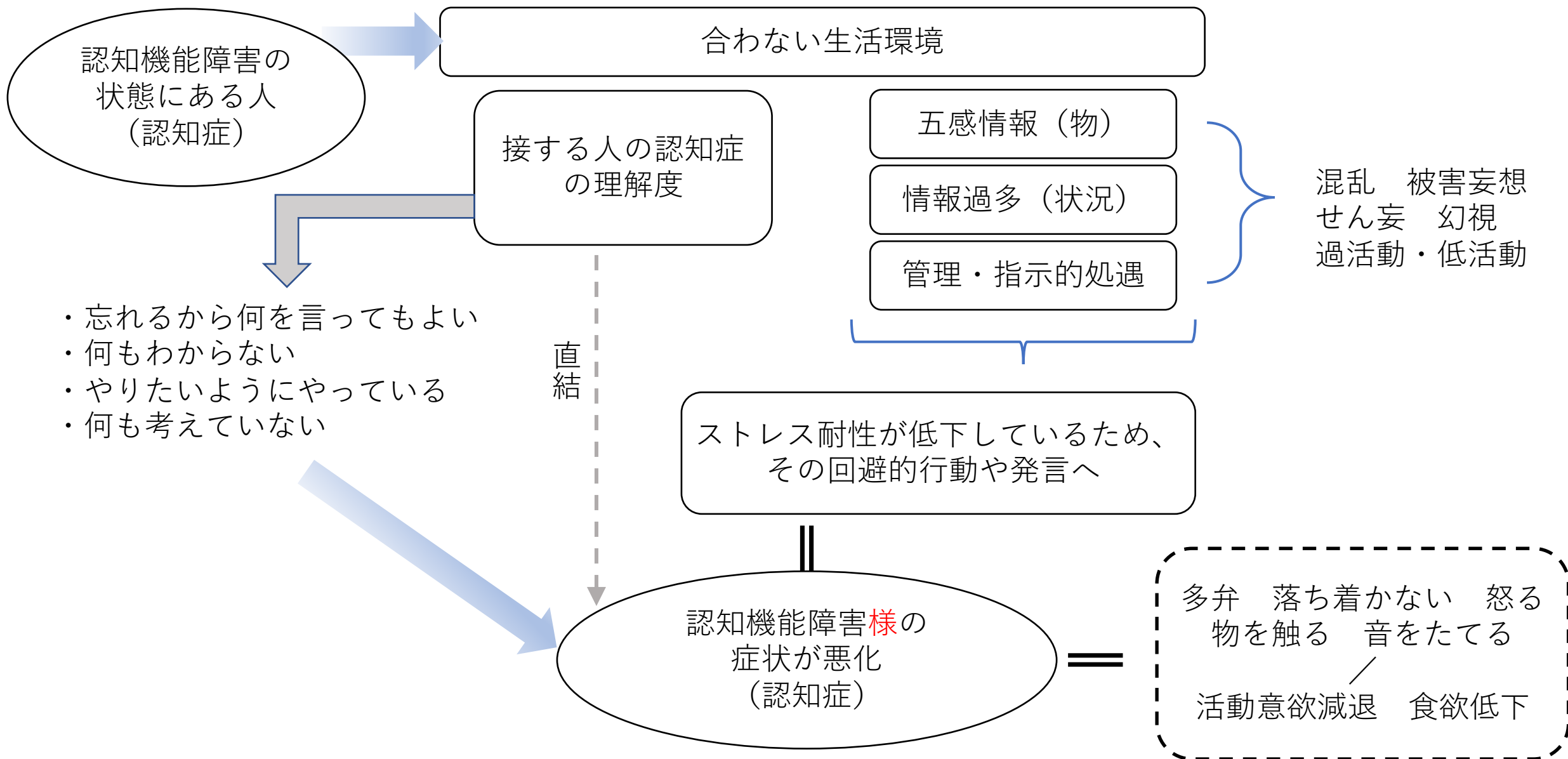
基本的「3つの要素」 (身体的要因)



基本的「3つの要素」 (薬剂的要因)



基本的「3つの要素」 (環境的要因)



認知症の症状に100%支配されてしまうことはない

生活周辺の認識を間違える率が高くなるが、その認識に基づいて行う行動や発言は**個性と習慣が反映された正常な反応**であることは少なくない。（医療的見解は別）

個性と習慣の維持は「**紛れもなく本人が本人のまま存在している証拠**」である。

人情とは、この本人の「**存在否定をしないこと**」であり、それが**意思疎通する最大のコツ**でもある。

分析的な介護とは、大きく間違えない様な**工夫を環境に施していく**ことである。

認知症は一般的に認識されているよりしっかりされています。
介護されるご家族は、ご自身が感情をコントロールしきれない時などは、むしろ「直接関わらないこともアプローチの一つ」であること知り、ご自身の心情安定を優先してみてください。
安定されたご家族に反応するご本人は、自然に安定する可能性が高いのです。

本日のまとめ

- 1、認知症の人をケアするということは、本人の「**善き反応**」を目指して行うものです。
- 2、個別性が色濃いため、**一律の対応方法などには限界**があります。
- 3、同居していても**感情が乱されない暮らし方**を見つけることが大切です。
- 4、**本人**も認知症の症状に**苦悩**しています。本人がその**症状を忘れていられる**ことは**よい介護**です。

◎これらを踏まえていれば、
認知症の症状を肥大化させたり、過剰に恐れずにいられる可能性は十分にあります。